

かたの



R3.6. 8
形埜小学校
校長室だより

「あきらめない心」の源は？（朝会にて）

六月八日（今日）の自分と、四月六日（始業式）の自分と比べみたら、どっちの自分が好きですか？

きっと、たくさんの子が「今の自分」と答えるんじゃないかと予想します。理由は？…振り返ると、レベルアップしたことがいっぱいあると思います。（まだ、達成できていないとしても、目標に向かって、もてる力をちゃんと出している自分を実感できているんじゃないかなど…。）

先日の発表会、一心に走る姿、踊る姿、一輪車に乗る姿、技に取り組む姿を見て、体が熱くなりました。

「あれだけやったんだ。失敗してなるものか！」との必死の形相に、何度もジーンとききました。同時に、それぞれの練習の姿が浮かんで来て、胸がつまりました。「よく、ここまで、できるようになった…。」と驚いてさえます。

ところで、ここにくるまで（できるようになるまで）どうでしたか？「簡単だったよ」という子もいれば、多くの子が、「なんとかするぞ！」と決めたものの「あ～、できそうもない。」とか「やっぱり、無理だ。」と弱気におされそうな時もあったのではないのでしょうか。そんな時、「いや、あきらめるわけにいかん」と乗り越えられたのはなぜでしょうか？今回は、このことについて話題にしてほしいです。（「無理だ！なんて思わなかったよ。」という子は、「できるようになろうとした理由」「何のために頑張った？」「なぜ、あきらめずに頑張れた？」を教えてください。）

私は、発表会の時だけでなく、五月六月、「強い姿」「強くなった姿」にたくさん出会いました。「なぜ、そこまで頑張れる？」「その力はどこから湧いてくるの？」と、心が「きゅーん」としました。

知りたいです。みんなの「頑張りの源・あきらめない心の源」

場が清まる～心が整う（前々回の「かたの」で美しいロッカー紹介後、「我らも！」と続く教室が…。）



整っているものには、手が加えられた跡を感じます。手を加えている（整えている）時の姿を想像すると、優しい顔が浮かんできます。



教室移動中の空き教室机上
スツキリ！イスもばっちり！
さすが、6年生！！



保護者の皆様へ

資源回収と運動発表に関するお願いへのご理解とご協力、心より感謝申し上げます。次から次へと申し訳ありません。本日から、「家庭読書期間」がスタートします。お力添え、よろしくお願いします。（心に残るフレーズ・お気に入りの言葉・場面など話題にしていただけると楽しそうです）

